

## 平成 23 年第 3 回定例会一般質問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
近 藤 育 雄	<p><b>空き家調査の実態と今後の利活用策について</b></p> <p>今年5月から、全額国庫補助事業で「空き家調査」が調査員2名を雇用して行なわれている。町としてUターンによる定住促進を計画している今、非常に有効な調査であると考えている。今回の調査によってどのようなデータが得られるのか、また今後このデータをどのように利活用するのかについて次の6つの観点から伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．本事業の8月末日までの進捗状況</li> <li>2．事業の終期はいつ頃か</li> <li>3．この事業は来年度以降も継続されるのか</li> <li>4．データの有効活用方法</li> <li>5．町民、その他の人々への情報提供</li> <li>6．廃屋同然の家も顕在化したと思うが、解体等についての行政指導</li> </ol>	町 長
	<p><b>診療所周りの駐停車対策について</b></p> <p>現状を見るに、診療所の玄関前が時として非常にゴタゴタしており、肝臓外来や整形外来等の特殊外来時は路上駐車で車が溢れていることが垣間見られる。</p> <p>診療所専用車の置き場所にも問題があると思われる。そこで次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．最近セニアカー利用者が増えていることに鑑み、玄関前をシルバースペースにすることについて</li> <li>2．診療所の入口は緊急車両用としてスクランブル表示し、通常は駐停車禁止とすることについて</li> <li>3．診療所専用車の駐車スペースを設けることについて</li> </ol>	町 長

小 辻 隆 治 郎	<p><b>磯焼け対策について</b></p> <p>( 1 ) 磯焼けの状況と今までの対策及びその効果について 何う。</p> <p>( 2 ) 磯焼けがなぜ発生するのか？その仕組みを解明する 最近の研究の成果として、8年前に立ち上げられた 「森里海連環学」が次第に認知されつつある。これ についての感想、見解を何う。</p> <p>( 3 ) 磯焼けの仕組みを、町民に理解させることが先ず必 要と考える。町民、とりわけ漁協、漁業者の理解と 協力がぜひとも必要だが、農業者にとっても大事な 問題である。この解明に携わった先達並びに大学教 授の講演会等を開くなど広報活動をすべきと考える が、見解を何う。</p> <p>( 4 ) また、磯焼け対策を実施するにあたって、磯焼け状 況を正確に把握し、それに対する適切な処置を行う ためにも専門家に依頼し、調査することが緊急と考 えるが、見解を何う。</p> <p>( 5 ) 磯焼け対策の財源として、農水省、経産省、国交省 等の補助金等が考えられるが、2011年から始ま る長崎県の総合計画の中の「しまは日本の宝」戦略 に、小値賀町活性化の企画の一つとして盛り込むこ とも案として考えられるが、見解を何う。</p>	町 長
-----------	---	-----

伊藤 忠之	<p><b>小中学校新校舎建設に伴う学校給食について</b></p> <p>平成23年7月、小学校の校舎解体に伴う、校舎「お別れ会」終了後、学校給食について保護者説明会を行うとして、8月19日に説明会を実施しているが、説明内容について、教育長に伺う。</p> <p>対象者数と説明会への出席者数を伺う。</p> <p>給食問題のこれまでの経緯を伺う。  これまで給食を実施しなかった理由について  今回の方向転換の理由について</p> <p>学校給食の必要性について伺う。  給食によるメリットについて  給食によるデメリットについて</p> <p>学校給食を行なう場合、施設試算の概要について伺う。  建設事業費と厨房備品等の事業費について  児童生徒数と職員数について  人件費を含む年間維持費の見込額について  給食材料に係る費用について</p>	教 育 長
	<p>学校給食を行なう場合、町としての負担額をどのように考えているのか、町長に伺う。  人件費を含む維持費の負担について  全額、保護者負担になるか否かについて</p> <p>町として学校給食を行なうかどうかを判断するのに保護者の賛否の割合をどれくらいと考えているのか、町長に伺う。</p>	町 長